CYCLOSONIC PANNER



Softube



Softube ユーザーズマニュアル

© 2007-2015. Amp Room は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Softube は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Marshall、Super Lead、Plexi、1959 に関連するロゴ、及びすべての視覚と聴覚のリファレンスは、ライセンスを受けて使用しているMarshall Amplification UKの商標です。Valley People Dyna-mite、Trident A-Range、Tonelux、Tiltへの視覚と聴覚へのリファレンスは、PMI Audioから書面による許諾を得て使用されている登録商標です。Tonelux、Tilt logo、Valley People、Dyna-miteに関連するロゴ、Trident、A-Range、Triangleのゴロはライセンスに基いて使用されているPMI Audio Groupの商標です。Summit Audio Inc. は、Baltic Latvian Universal Electronics、LLCの登録商標です。すべての仕様は予告なく変更することがあります。無断複写、転載を禁じます。

その他の会社名、および本書に記載されている商品名は、各社の商標、及び登録商標です。他社製品に関する記載は、情報提供のみを目的としており、保証、推奨するものではありません。Softubeは、これら製品のパフォーマンス、または使用に関して一切の責任を負いません。

Softube製品は、特許SE526523、SE525332、関連する特許/特許 WO06054943、US11/667360、US20040258250、EP1492081、EP1815459、JP2004183976によって保護されています。

ユーザーへのソフトウェアへの権利は付属のソフトウェア使用許諾契約書(EULA)に準拠しています。

謝辞とライセンスについて

'zlib' general purpose compression library version 1.2.8のzlib.h インターフェイス、April 28th, 2013。Copyright © 1995-2013 Jean- loup Gailly と Mark Adler。このソフトウェアの一部は、copyright © 2006 The FreeType Project (www.freetype.org)です。すべての著作権を保有しています。WonderGUI は、Tord Jansson のライセンスに基づき使用されます。© 2004, 2006-2014 Glenn Randers-Pehrson によるLibpng のバージョン1.2.6, August 15, 2004 からバージョン 1.6.12、June 12, 2014 までは、同じ免責にとライセンスに従って頒布されています。いくつかのコードは、copyright © 2008 The NetBSD Foundation, Inc が所有しています。VST は、Steinberg Media Technologies GmbHのソフトウェアであり、商標です。Mac OS X のヘッダーは、Apple Public Source License (APSL) の元でカバーされ、http://www.publicsource.apple.com/apsl/でご利用可能です。

免責事項

あらゆる努力は、このマニュアルに記載されている情報が正確であることを確認するために行われました。しかし、 我々はミスを犯している可能性があり、我々も人間であるということをご理解いただけますと幸いです。ミスを発見 した場合、我々にお知らせください。マニュアルの後のバージョンで修正します。

サポート

Softubeのウェブサイト上 (<u>www.softube.com</u>)では、よくある質問(FAQ)や、様々な他のトピックへの答えを見るけることができるでしょう。

サポート的な質問は、http://www.softube.com, にポストしてください。

我々は出来るだけ速やかにお答えします。Web: www.softube.com

E-mail: info@softube.com

Phone: +46 13 21 1623 (9 am - 5 pm CET)

もくじ

1	Dytronics Cyclosonic Panner	5	
	概要	6	
	ムーブメント	11	
	ステレオモード	11	
	インジケーター	13	
	使用方法/ヒント&トリック	14	
2	ゼネラルセッティング	15	
	メニュー	15	
	キーコマンド	16	



Dytronics Cyclosonic Panner

Dytronics Cyclosonic Pannerは、もともとFender Rhodes piano 用に特別に設計されたDytronics Tri Stereo Chorus を製作したことで知られていたアメリカのDytronicsによって1984年のNAMM Showで発表されました。開発段階でのDytronics Cyclosonic Pannerは、Flying Saucerと呼ばれていたため、発売されたハードウェアのパネルには頭文字のFS-1が使用されていました。Dytronicsと Songbirdブランドの両方で発売されました。



オーバービュー

UAD Dytronics Cyclosonic Pannerは、オーディオエキサイター、フェイズシフター、パンニングを組み合わせたコントロールを備えています。 Cyclosonic Pannerは、オリジナルのハードウェアと同様に2つのパンナー(A&B)とユーザーフレンドリーなリアルタイムコントロール、そしてサウンドの位置と動きを視覚的に表示します。

また、ドラムとパーカッションのトラック、シンセサイザー、ボーカル、または4系統のアドバンス出力設定(モノラルVCA、モノラル-ステレオ、ステレオ、ダブルステレオ出力)でスペシャルエフェクトのような3Dの存在感を演出します。

独特なパン、ラウンド、4系統の出力セッティングと組み合わせたオーディオトリガーモードで、ファイナルミックス、トラッキング、ライブパフォーマンスの状況下で新しいクリエイティブな音楽アプリケーションを提供します。

パンモード

パンモードでは、モノラル信号(1~2モードの左入力を使用)とステレオ信号(ステレオモードの左右両方の入力を使用)で作業するとき、Cyclosonic Pannerは、左右のパンナーとして機能します。

Cyclosonic Pannerは、パンモードでは、オートゲーティング、トレモロ、または"オーディオチョッピング" エフェクトを作成するためにより珍しいモノのVCAモードと組み合わせて使用することも可能です。

ラウンドモード

この機能は、リスナーの周りにサウンドを三次元的に移動させ、サウンドがリスナーの前後の両方にあるような錯覚を与えます。ラウンドの動きは、イコライザー(エキサイター)と最大360度のフェイズシフトとパンの組み合わせによって実現されます。パンモードの方向と逆方向の選択ボタンとを組み合わせることでDytronics Cyclosonic Pannerは36種類以上のパン、サイクリング、チェイシング・エフェクトを作成することができます。

トリガーモード

Cyclosonic Pannerのトリガーモードは、左右の入力の両方に最大のオーディオ入力信号を使用します。信号が設定したスレッショルドを上回るとトリガー入力信号のアンプリチュードとデュレーションは、ゲートトリガーに特化した音楽的な代替手段として開始位置と停止位置に加えてダイレクションを変更することができます。

トリガーは、左の入力(チャンネルA)だけを聞きます!

ステレオモード

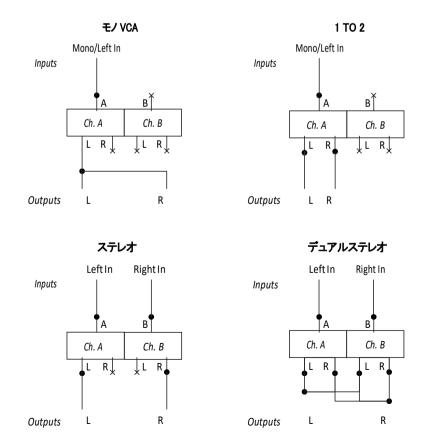
Dytronics Cyclosonic Pannerはオリジナルのハードウェアユニットの接続性を反映するために4種類の異なる構成、ステレオモードを備えています。オリジナルのハードウェアユニットの入力は、チャンネルA(左入力)、チャンネルB(右入力)と名付けられており、それぞれ3Dパンステレオチャンネルのペア、適切に"チャンネルA"と"チャンネルB"と名付けられています。これらの2D、または3Dのパンニングポジションが、パンナーA、パンナーBのLEDディスプレイに表示されます。Softubeは、オリジナルハードウェアユニットの物理的なパッチポイント出力構成の4つを忠実に再現していますが、ここでは"ステレオモード"と呼ばれています。

モノVCA

シングル・モノイン-モノアウト (ワンインワンアウト・ゲートモード)

モノVCAモードは、ノイズゲーティング、またはトレモロ(モノ)エフェクトを実現するために、1つのモノ入力と1つのモノ出力が使用されるハードウェアの設定をエミュレートしています。このモードでのCyclosonic Pannerは左チャンネルのオーディオのみを使用します。

1 to 2 シングルモノイン-ステレオアウト(チャンネルL&R)



1 to 2モードでのCyclosonic Pannerは、モノラル信号(左)がチャンネルAに送られ、そのモノラル信号からステレオエフェクトが生成されてモノからステレオの設定をエミュレートします。

ステレオ

ステレオイン・ステレオアウト(チャンネルA-L、チャンネルB-R)

ステレオモードは、左右両方の入力を受け入れますが、ステレオ出力は、チャンネルAの左チャンネルとチャンネルBの右チャンネルの組み合わせです。

デュアルステレオ ステレオイン - ダブルステレオ(チャンネル A=L&R+チャンネルB=L&R

デュアルステレオ・モードは、左右の入力を使用しますが、stereo pannerのAとBの両方を使用して出力します。これらはまとめて通常のステレオ出力となります。

パラメーター

エフェクト・オン/オフ

Cyclosonic Pannerエフェクトのオン/オフを切り替えます。オフの位置でエフェクトはバイパスされます。

スタート/ストップ・マニュアル

pannerムーブメントのオン/オフを切り替えます。 マニュアルに設定されている場合、パンモード (〈〉、〉、〈、reverse)とラウンドモード(I、II、III、 reverse)ボタンを使用して出力ステレオイメージ の静止位置を設定することができます。



Start/Stop Manual Trigger S. Set Re. Trg. Round Mode

スタート/ストップ・トリガー

このボタンは、Cyclosonic Pannerのトリガーモードを有効にします。トリガーセンサー・ノブで設定したレベルを入力オーディオが超えるたびに動作を始めます。トリガーモードをクリックすると最後に使用したトリガーモードがオンになります。(S.Set またはRe.Trig、下記参照)

スタート/ストップ S.Set

このトリガーモードでは、トリガーレベルに達すると選択した方向にムーブメントが発生します。信号レベルがスレッショルドを下回ると、停止する前に自動的に開始位置に戻ります。トリガー信号入力の振幅、デュレーションを変化させるとムーブメントが音楽的にランダムな動作を行います。最適な音楽的な効果を得るためにトリガーセンシティビティ・コントロールの調整を行ってください。

スタート/ストップ Re.Trg

このトリガーモードでは、トリガーレベルに達する とムーブメントが発生します。信号がスレッショル ドを下回るとムーブメントは停止します。これはオートレズリー(ステレオモード)、またはトレモロス タイル・エフェクト(モノVCAモード)を作成するために使用します。

トリガーセンシティビティ

入力したオーディオからムーブメントをトリガーする時のスレッショルドとなる感度を設定します。値を小さくするとトリガーのスレッショルドが上がり、値を大きくするとトリガーのスレッショルドが低くなり、トリガーが敏感になります。

パンモード〈〉

このパンモードを選択すると左右に等しくムーブメントが適用されます。

パンモード >

このパンモードでは、ムーブメントは、左から右への移動のみとなり、動く速度が2倍になります。

パンモード 〈

このパンモードでは、ムーブメントは、右から左への移動のみとなり、動く速度が2倍になります。

これらのパンモード・セレクターは、スタート/ストップ・モードがオフの時に、スタティック・パンの位置を切り替えるためにも使用可能です。(マニュアルがオフの場合)

パンリバース

このボタンは、チャンネル Aのムーブメントの方向を反転させます。ステレオ、またはでゆあうステレオ出力モードを使用する場合、チャンネルに逆の動きを加える場合に便利です。



ラウンドモードI

エキサイターとパン。ラウンドモードIは、精巧なサイコアコースティク高周波数ドップラーエフェクトを提供します。このシミュレーションはパンニングのムーブメントによって強度が変化します。他のすべてのターンは、選択したパンサイクル内で左から右のサイクルの中央でブーストを加えます。

ラウンドモードII

ラウンドモードII は、パン信号の振幅が前方から後方に変化するという錯覚を作り出します。フェイズはこの効果をさらに高めるために変更することができます。

ラウンドモードIII

ラウンドモードIII では、パンムーブメント、振幅の変化、フェイズシフト、エキサイターを一度に使用して、サウンドがリアルに周囲を回るような"3Dパンナー"効果を作成します。

ラウンドモード・リバース

このボタンは、チャンネルAの位置を前後に逆 転させます。ステレオ、またはデュアルステレオ 出力設定を使用しているときにこのモードを使 用すると、劇的な効果が得られます。

Cyclosonic PannerのラウンドモードIIとIIIは、3Dパンニング効果を達成するために位相の反転を使用します。これを発生させる可能性のあるオーディオの位相問題を覚えておいてください。特にヴァイナル(レコード)にするためのミックスを行っている場合は顕著になります。

ムーブメント

DAWテンポ

このボタンを押して点灯させると、パンナ―の移動速度が、レートノブで設定したディビジョンでDAWテンポにシンクしていることを意味します(下記参照)。

レート

このノブを使用して30秒サイクルから、1サイクル当たり最大0.1までスピードを選択することができます。DAWシンクモードでは、各サイクルにつき、4小節からサイクル当たり1/16音符までの範囲を有しています。

W.Form

W.Form(ウェーブフォーム)ノブは、パン、またはラウンドモードでの波形(ウェーブフォーム)の動きを選択するために使用します。このノブは、オリジナルハードウェア独自のトライアングル波/サイン波とスクエア波の間で連続的に調整可能です。

ワイズ(Width)

パンノブはスウィープ移動する量を設定します。 値が大きいほどパンスウィープが激しくなります。

デプス(Depth)

デプスノブは、ラウンドスウィープ・ムーブメントの振幅変化量を設定します。値が大きいほどパンスウィープが激しくなります。

ステレオモード

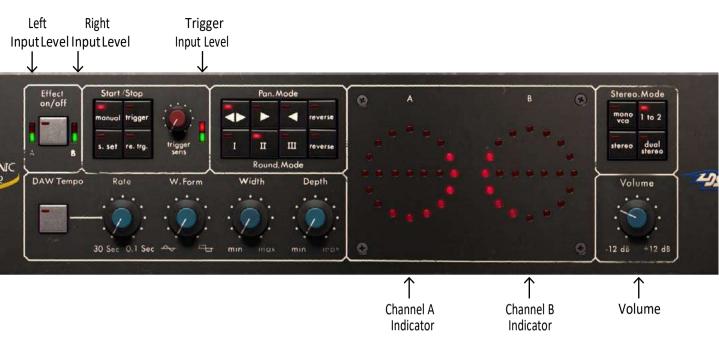
ステレオモード・モノVCA

このボタンによってモノVCAモードになります。このモードでは、チャンネルA(左チャンネル)のみが使用され、左のもの出力に信号が出力されます。"ノイズゲート"設定ともいわれます。









ステレオモード 1 to 2

このボタンは、1to2モードをオンにします。プラグインは、モノラル信号(左)とステレオエフェクト出力を備えたオリジナルのハードウェアのものからステレオへの設定をエミュレートしています。

ステレオモード ステレオ

ステレオモードがオンになり、左右の入力がソースとして使用され、ステレオ出力はPanner A左チャンネルとPanner B右チャンネルの組み合わせになります。

ステレオモード デュアルステレオ

デュアルステレオモードになり、左右の入力と、 panners AとBのステレオ出力チャンネルを組み 合わせて使用することができます。

ボリューム

プラグインのボリュームを-12 ~ +12 dBの間で調整することができます。12時の位置では0 dB ゲインを設定します。

デプスコントロールが最大でラウンドモードii、またはiiiの場合、出力レベルは入力レベルの3倍になることがあります。

インジケーター

レフトインプットレベル

このLEDインジケーターは左の入力(チャンネルAIに接続)に向かう信号を表示します。

ライトインプットレベル

このLEDインジケーターは右の入力(チャンネル Bに接続)に向かう信号を表示します。

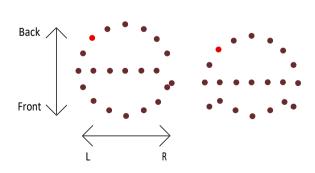
トリガー入力レベル

このLEDインジケーターは、トリガーレベルのレスポンスを表示します。インジケーターが緑色の場合、入力信号が低くムーブメントをトリガーしません。インジケーターが赤色の場合、入力信号がトリガースレッショルドを越えているためにムーブメントをトリガーします。

チャンネルAパンインジケーター LED

チャンネル Aインジケーターリング内の水平の バーは、入力チャンネルA(左ステレオ入力)の パンのムーブメント(左右)を表示します。 チャンネルAラウンドインジケーターLED チャンネルAインジケーターLEDのリングディスプレイは、入力信号A(左チャンネル)のサウンドのムーブメントを視覚的に表示しているものです。このシンプルなLEDリングは、両進行方向、開始位置、速度を表示します。

チャンネルBパンインジケーターLED チャンネル Bインジケーターリング内の水平の バーは、入力チャンネルB(右ステレオ入力)の パンのムーブメント(左右)を表示します。





チャンネルBラウンドインジケーターLED チャンネルAインジケーターLEDのリングディスプレイは、入力信号A(左チャンネル)のサウンドのムーブメントを視覚的に表示しているものです。このシンプルなLEDリングは、両進行方向、開始位置、速度を表示します。

LEDディスプレイの下半分は信号の前面位置と速度を表し、上半分は後面位置と速度を表示しています。

使用方法/ヒント&トリック

スタンドアローンの"エキサイター"として Cyclosonic Pannerを使用するには、"Round I"を 選択し、スタート/ストップ・モードをオフに設定する と効果が得られます。デプスコントロールは、ムー ブメントが左から右のサイクルの中心にあるときに エキサイターの強さに変化を与えます。

レスポンスの良いトリガーとセンシティビティコントロールの効果により、Dytronics Cyclosonic Pannerは、オーディオゲーティング機能も優れています。Panning モードとRe-trigモードをMono VCA セッティングで使用すると、レートコントロールとウェーブフォームコントロールによってゲートする信号のリリースの長さ、カットオフや強度をコントロールすることができます。

以下は、通常のパンナ―では期待できず、 Dytronics Cyclosonic Pannerでは作成可能な追加エフェクトのリストです。:

- ・ノイズゲート
- ・ コンプレッサー
- ・トレモロ
- ・エキサイター
- ・ エコーのようなエンベロープ

ステレオモード(ステレオとデュアルステレオ)でのパンニングの組み合わせによっては、入力ステレオチャンネルのモノラル・コンポーネントを合計すると予期しない結果が生じる場合があります。これは例えば、スウィープしたステレオフェイズの一部がオーディオを打ち消してしまうフェイズキャンセルを生成してしまう場合があります。

クレジット

Björn Rödseth - モデリング、Kim Larsson - モデリング、Kristofer Ulfves - プロダクトオーナー、ユーザーマニュアルテスト、プリセット、Maxus Widarson - テスト、Niklas Odelholm - グラフィックデザイン、Ulf Ekelöf - 3Dレンダリング

1 ゼネラルセッティング

Softubeプラグインは、"見たそのまま"の製品です。素早く、効率的に操作できるよう直感的に数分以内に使い方を覚えることができます。メニューのような Softubeのすべてのプラグインで同じような部分がありますが、それについてはこの章で説明します。プラグインの特定の詳細な情報に関しては、それぞれの章を参照してください。

メニュー

プラグインインターフェイスの下部には、いくつかのボタンと細い黒い列があります。ここでは例として、Chandler Limiter Zener Limiterプラグインを使用しますが、他のプラグインでも同様です。

About Box Aboutボックスを開くと、バージョン情報を表示します。

Value Display マウスがコントロールしているノブ の値を表示します。

Enable プラグインを有効にします。 オフにするとバイパスします。

Setup プラグイン全体の設定を変更するには グローバル・オプションを使用します。



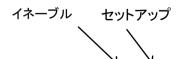


イネーブル

イネーブルスイッチがオンになっている場合(i)、 プラグインはアクティブになり、オーディオ処理が なされます。オフ (0)にするとバイパスされ、オ ーディオ処理されません。バイパス時のCPU消率 はかなり少なくなります。



バリューディスプレイ





セットアップ

セットアップウィンドウでは、プラグインの特定のインスタンスに影響を与える設定を行います。例えば、

"Show Value Display"オプションの選択を解除した場合、 プラグインは再びそのオプションを選択するまでシステム上のすべてのバリューディスプレイはオフになります。

WindowsとMacの間では、異なるオプションに変わっている場合があります。また異なるフォーマットやプラグインでも同様です。一般的なオプションは以下の通りです。:

Show Value Display:プラグインの下の列でパラメーターと値の表示を有効にします。

Reverse Mouse Wheel Direction: (Mac OS のみ)ノブの動きに合わせてマウスホイールの上下を変更することができます。(Mac OS のみ)

変更を有効にするには、ホストアプリ(DAW)を再起動する必要があります。

もし、マニュアルでこのオプションを設定する必要がある場合は、下記の場所にテキスト形式でそれらを見つけることができます。:

Mac OS: ~/Library/ApplicationSupport/ Softube

Windows: username¥Application Data¥

キー・コマンド

プラグイン内のすべてのナンバーとラベルはクリックすることができます。これは簡単に希望する値を入力、設定することができます。ラベルの上にマウスを乗せると指差し型のポインターに変更されます。

マウス

UP/DOWN マウスホィール

ノブやスイッチのパラメーター変更方法を選択

キーボード

ファインアジャストt 出 (Mac) or Ctrl (Win) パラメーターの値を微調整する場合に使用

パラメーターのリセット

Altキーを押しながら、ノブやフェーダーをクリックするとデフォルト値にリセットされます。

パラメーターのリンク

Shiftを押しながらボタン、またはつまみを押す。

Metal Amp Roomの2つのマイク、またはZener Limiterのインプットとアウトプット・ボリュームなど、一部のプラグインは、パラメーターがリンクされています。両方のノブを同時に変更するにはShift を押しながら片方のノブを調整してください。



